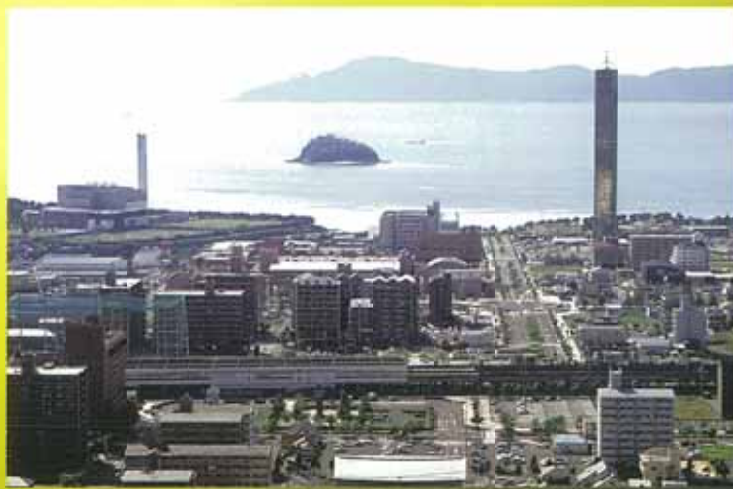




みなとオアシス うたづウミホテル

宇多津港周辺を地域住民・企業・団体等が住民の視点により
住民全体で積極的に賑わいのある町にしたいとの思いから、この度
「みなとオアシス」に登録され、活気ある地域づくりを行っています。



「みなとオアシス」とは、海浜・旅客ターミナル・広場などみなとの振興に関わる取り組みを行い、地域内外の人々が交流することができる“にぎわい交流拠点”をつくり出すものです。

港・海辺をにぎわいの核として、さらに地域の活性化にも寄与する拠点及び空間として、積極的な活用を位置づける制度です。平成15年11月20日に、中国地方整備局、四国地方整備局が制度化したもので、各整備局が登録し、各種の公的な支援を行うものとなっています。

宇多津町への交通アクセス



- 車** 瀬戸大橋より
山陽自動車道(山陽JCT)から瀬戸中央自動車道を経て瀬戸大橋を渡り、坂出北ICを降りる。西方面へ約2kmで到着。
備前石海峽大橋より
神戸淡路橋門自動車道(備前水JCT)より備前石海峽大橋を渡って淡路島を横断。備前ICより高松自動車道へ、西方面へ約80kmで到着。
- JR** 山陽新幹線岡山駅より瀬戸大橋線で宇多津駅下車。



お問い合わせ：みなとオアシス うたづウミホテル
まちづくりアクション協議会事務局（宇多津町役場内）Tel. 0877-49-8009



瀬戸の多島美や瀬戸大橋を眺望できます。多目的広場、芝生公園、わんぱく公園があり、憩いの場として利用されています。

宇多津臨海公園

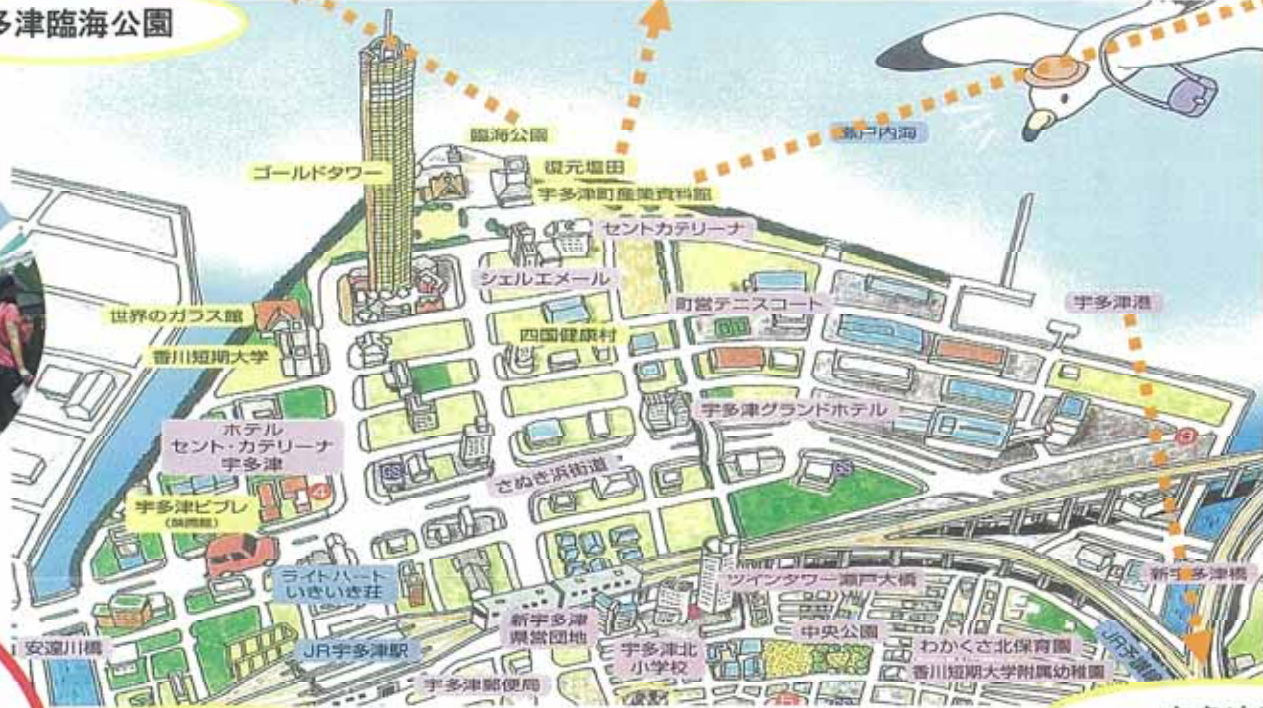


復元塩田



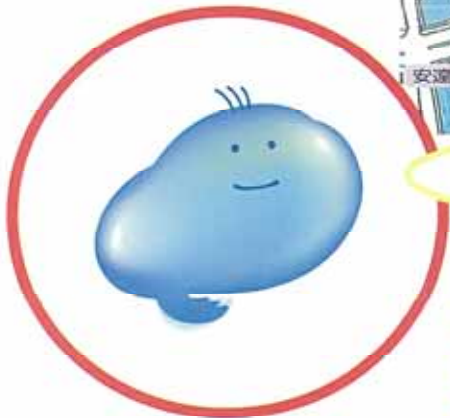
宇多津町産業資料館

およそ 230 年にわたって町を支えてきた塩づくりの歴史を後世に伝えたい。そんな町民の願いが昭和63年11月宇多津町産業資料館と復元塩田になって結実しました。
開館以来、ユニークな観光スポットとしても人気を集めています。
TEL (0877) 49-0860



宇多津港

7世紀後半「鶴足津」と呼ばれた小さい港は、やがて平安時代に讃岐有数の船着場へと発展。その後、瀬戸内海における海上交通の要所となりました。



う～みん

「海ホテル」は、陸のホテル同様に水の綺麗な環境の良いところに生息するものです。宇多津の海に多く生息している、その「海ホテル」をモチーフに、町おこしのイメージキャラクターを誕生させました。名前は公募して「う～みん」に決定。すでにキャラクターグッズが制作されていて、これからどんどん活躍していきます。
「う～みん」を宜しくお願いします。

